

令和 3 年 度 事 業 報 告
(自 令和 3 年 4 月 1 日 ～ 至 令和 4 年 3 月 3 1 日)

一般社団法人 建築研究振興協会

1. 会務報告

1-1 会員の状況

| 会員種別 | 令和3年3月31日 | | 入 会 数 | | 退 会 数 | | 令和4年3月31日 | |
|-------|-----------|-----|-------|----|-------|----|-----------|-----|
| | 会員数 | 口数 | 会員数 | 口数 | 会員数 | 口数 | 会員数 | 口数 |
| 個人正会員 | 106 | 106 | 2 | 2 | 14 | 14 | 94 | 94 |
| 法人正会員 | 52 | 62 | 0 | 0 | 2 | 2 | 50 | 60 |
| 名誉会員 | 77 | — | 6 | — | 1 | — | 82 | — |
| 計 | 235 | 168 | 8 | 2 | 17 | 16 | 226 | 154 |

1-2 会議の開催

(1) 総 会

令和3年度定時総会は、令和3年6月14日(月)10時30分から新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して建築研究振興協会会議室にて、委任状及び議決権行使書を含め105正会員が出席又は出席とみなされ開催された。

令和2年度事業報告及び同収支決算報告の報告がなされ、令和2年度収支決算報告が承認された。次に、令和3年度事業計画及び同収支予算の報告がなされた。

名誉会員の推薦についても原案どおり承認され、続いて任期満了に伴う理事の選任及び顧問の推薦があり、次のとおり可決決定した。

理事の選任

(再任) 秋山 友昭、勝俣 英雄、加藤 茂、河合 直人、高橋 幹雄、
勅使川原 正臣、長島 一郎、春田 浩司、福田 孝晴、真野 孝次、
本橋 健司

(新任) 掛川 秀史、新居田 滝人

理事の退任 石川 裕、石渡 廣一

顧問の推薦

青木 義次、岡本 伸、上村 克郎、小泉 重信、佐藤 慶一、白山 和久
高橋 徹、梶田 吉弘、山崎 裕

(2) 理事会

令和3年度の理事会は、次のとおり5回開催された。なお、第183回理事会は新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策として、書面決議とした。

- ① 第182回理事会 (令和3年5月13日(木) Web会議)
(議事内容)
- イ 会員の入退会の報告
 - ロ 令和2年度事業報告の承認
 - ハ 令和2年度収支決算の承認
 - ・ 令和2年度収支決算報告の承認
 - ・ 独立監査人による監査報告
 - ・ 監事による事業報告・計算書類の監査報告書
 - ニ 名誉会員の推薦案の承認について
 - ホ 令和3年度定時総会を書面決議とする承認
 - ヘ 令和3年度定時総会議案
 - ト 役員を選任及び顧問の推薦
- ② 第183回理事会 (令和3年6月14日(月) 書面決議)
(議事内容)
- イ 会長、副会長及び専務理事の選定
- ③ 第184回理事会 (令和3年10月25日(月) Web会議)
(議事内容)
- イ 正会員の入会の承認及び退会の報告
 - ロ 一般経過報告
- ④ 第185回理事会 (令和4年1月31日(月) Web会議)
(議事内容)
- イ 正会員の退会の報告
 - ロ 一般経過報告について
 - ハ 技術顧問の委嘱、解嘱の報告
 - ニ 優秀若手構造研究者表彰(コンクリート系) 選考結果の報告
- ⑤ 第186回理事会 (令和4年3月30日(水) Web会議)
(議事内容)
- イ 正会員の入会の承認及び退会の報告
 - ロ 一般経過報告について
 - ハ 令和4年度事業計画及び収支予算の承認
 - ニ 役員退職金規定の改正の決議
 - ホ 事務局長の任免に関する決議
 - ヘ 優秀若手構造研究者表彰(コンクリート系) 選考結果の報告

(3) 監事監査

令和3年度の監事監査は、次のとおり実施された。

- ① 令和3年5月10日(月)
小山、須田両監事により令和2年度事業・決算の監査が実施された。
- ② 令和3年10月22日(金)
小山、須田両監事により令和3年度上半期中間監査が実施された。

(4) 会計監査

令和3年度の会計監査は、次のとおり実施された。

- ① 令和3年4月17日(土)
西村公認会計士、峯尾税理士により令和2年度期中監査が実施された。
- ② 令和3年4月20日(火)

西村公認会計士、峯尾税理士により令和2年度決算監査が実施された。

③ 令和3年10月7日（木）

西村公認会計士、峯尾税理士により令和3年度上半期中間監査が実施された。

(5) 運営委員会

令和3年度の運営委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、Web会議とし、令和4年3月24日（木）に開催した。

（議事内容）

イ 名誉会員の推薦について

ロ 令和3年度の活動状況等について

ハ 優秀若手構造研究者表彰(コンクリート系)選考結果について

ニ 建築研究振興協会の運営について

(6) 「建築の研究」編集委員会

「建築の研究」の編集委員会を開催し、機関誌「建築の研究」の原稿依頼、編集等について検討した。

2. 業務報告

2-1 広報普及事業

(1) 機関誌「建築の研究」の刊行

機関誌「建築の研究」を、令和3年度は256号から259号の4冊を発刊し、会員等に建築の最新情報等を提供した。

(2) ホームページの運営

協会が開設するホームページ (<http://www.kksk.or.jp>) を維持・更新し、各種情報を発信した。

(3) 建築研究に関する資料の配布

令和3年度は、以下の5点を新規に刊行し、法人正会員に配布するほか、一般に実費頒布した。

① 建築研究資料 第202号（CD版）

省エネルギー建築のための設計ガイドライン

② 建築研究資料 第203号（CD版）

サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）（平成30年度-令和2年度）における採択事例の評価分析

③ 建築研究資料 第204号（CD版）

熊本地震で被災した鉄筋コンクリート造建築物を対象とした地震後継続使用確保に資する検討

④ 建築研究報告 第149号（CD版）

内装材の燃焼拡大を含めた多層ゾーン建物内煙流動予測モデル

⑤ 国立研究開発法人建築研究所年報 令和2年度

2-2 調査研究事業

(1) 海外機関 RILEM 及び、国内関係団体の会員として活動し、情報の収集に努めた。

(2) 国際会議での論文発表等国際交流活動を行う研究者に対する助成の募集を行ったが申請はなかった。

2-3 出版事業

- (1) 「既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル 2018」の販売
2018年度に発行した「既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル 2018」を引き続き販売した。

2-4 受託による調査研究事業

令和3年度は、9件の受託研究を実施した。
そのテーマ別件数は、以下のとおりである。

- | | |
|-----------------------|-----|
| (1) 建築材料に関する調査・研究 | 4件 |
| (2) 工法・施工技術に関する調査・研究 | 2件 |
| (3) 都市・住宅・環境に関する調査・研究 | 3件 |
| | 計9件 |

また、委託者属性別件数は、以下のとおりである。

- | | |
|--------------|-----|
| (1) 国・地方公共団体 | 1件 |
| (2) 公益法人等 | 1件 |
| (3) 民間企業 | 7件 |
| | 計9件 |

2-5 建物調査診断事業

令和3年度は、39件の建物調査診断事業を実施した。

- | | |
|--------------------------------|------|
| (1) 既存建築物の調査・診断 | 3件 |
| (2) 建物不具合に関する評価 | 26件 |
| (3) 耐震診断・耐震補強設計・監理 | 2件 |
| (4) 外部の設計事務所が行った耐震診断・耐震補強設計の評定 | 7件 |
| (5) 評価取得のための技術指導 | 1件 |
| | 計39件 |

また、委託者属性別件数は、以下のとおりである。

- | | |
|--------------|------|
| (1) 国・地方公共団体 | 7件 |
| (2) 公益法人等 | 1件 |
| (3) 民間企業 | 31件 |
| | 計39件 |

2-6 材料検査事業

令和3年度は、戸田試験所のJNL A登録を維持しつつ、試験を実施した。令和2年12月に業務を停止した旧八王子試験所の顧客に対し、試験体の回収業務を行うことで、業務量の確保に努めた。

- | | |
|-------------------------------|---------|
| (1) コンクリートの設計基準強度確認のための圧縮強度試験 | 10,322件 |
| (1)の内、採取と試験を一括で請負ったものの圧縮強度試験 | 1,223件 |
| (2) 鉄筋の素材、継手部確認のための引張強度試験 | 960件 |
| (3) コンクリートコアの圧縮強度試験 | 2,439本 |
| (4) 小径コアの圧縮強度試験 | 152本 |
| (5) コンクリートコア・小径コアの中酸化深さ測定 | 2,239本 |
| (6) 硬化コンクリートの塩化物含有量等分析試験 | 22件 |
| (7) その他（モルタル等の圧縮強度試験） | 2,922本 |

JNL A：工業標準化法に基づく試験事業者登録制度（（独）製品評価技術基盤機構）

2-7 その他

(1) 優秀若手構造研究者表彰

令和2年度優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）表彰式は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

令和3年度は、若手研究者のさらなる活性化を図るため、①令和3年度「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系・卒業論文）」及び②令和3年度「優秀若手構造研究者表彰（コンクリート系）」（博士前期課程対象）に区分して応募を行い、それぞれ、①3名、②2名の応募者があり、合計5名全員の受賞が決まった。

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない。